

Title	「ありがとうございます」と「ありがとうございました」におけるテンス交替(二〇一三年度卒業論文要旨集)
Author(s)	渡部, かえで
Citation	札幌国語研究, 19: 72-72
Issue Date	2014
URL	<a href="http://s-ir.sap.hokkyodai.ac.jp/dspace/handle/123456789/7622">http://s-ir.sap.hokkyodai.ac.jp/dspace/handle/123456789/7622</a>
Rights	

「ありがとうございます」と「ありがとうございました」  
におけるテンス交替

日本語教育学研究室 ○五〇七 渡部かえで

日本語には日常生活でよく使われる感謝の表現「ありがとうございます／＼」があります。先行研究により、両形の使い分けの大部分が明らかにされてきたが、いくつか不明な点がある。特に談話管理機能の役割を果たすのはタ形のみであり、ル形にはない働きであると指摘されているが、実際に使用されている用例では、ル形にも談話管理機能の働きが見られた。そこで、本研究では談話管理機能の役割を果たすル形とタ形の使い分けや出現傾向を明らかにすることを目的とした。

研究対象は、前後の文脈が分かる自然発話に限定した。そして、講演（『日本語話し言葉コーパス (Corpus of Spontaneous Japanese : CSJ)』収録)とバラエティ番組を調査の資料とし、「ありがとうございます／＼」が使われている用例を収集した。

調査の結果、談話管理機能の役割を果たす「ありがとうございます／＼」には大きく二つの役割があることが分かった。第一に、談話を終了させようとする働き、第二に、強引に談話を終了させたり、発話権を獲得しようとする働き、第三に、話し手によって特別に意識して使い分けされない働きがある。その中でも第二の働きは、用例中の出現回数から、ル形に比べてタ形の方が使用されやすい傾向にあることが分かった。